

## 令和7年度種苗生産事業の結果

水産研究所では、豊かな海・川の実現を目指し、海域や河川へ放流するための魚介類の種苗生産を行っています。

当所では、オニオコゼ、ガザミ、ヨシエビ、アユ、モクズガニの5魚種について種苗生産事業を実施するとともに、新たな魚種としてマダコの新種生産技術開発試験に取り組んでいます。今年度の種苗生産事業が終了しましたので、その生産結果についてご紹介します。

今年度は、概ね計画どおりに種苗の生産および出荷を行うことができました(表1)。生産した種苗のうち、ガザミ、オニオコゼ、ヨシエビの海産種苗については、中間育成施設で継続して飼育し、より大型に成長させた後、県内各地の海域へ放流しました。また、モクズガニは県内河川へ直接放流し、アユは内水面漁業協同組合の施設で春先まで飼育された後、県内各河川へ放流される予定です。

今年度は、老朽化した種苗生産施設の解体工事と生産時期が重なり、工事に伴う振動や海水・水道水の供給停止など、種苗生産への影響が懸念される状況がありました。

さらに、昨年度に飼育棟の照明をLED照明へ変更した影響と考えられる摂餌不良や、

夏場の高水温による餌料プランクトンの枯死など、さまざまなトラブルも発生しました。

このような状況の中、担当者は日々の飼育管理を行いながら、過去の文献調査や対応策の検討を重ね、最終的には計画数量どおりの種苗を生産することができました。

今後、年度末にかけて今年度の飼育結果を振り返るとともに、施設の点検・整備および次年度の生産に向けた準備を進めていきます。

来年度も、多くの種苗を安定的に放流できるよう、所員一同、引き続き全力で取り組んでまいります。

(栽培・資源研究室 檜東)



写真1 ガザミの出荷風景

表1 令和7年度種苗生産計画および結果

種類	生産計画 (千尾)	生産期間 (月/日)	配布実績 (千尾)	平均全長 (mm)	用途
オニオコゼ	50	6/17~8/7	73	19.6	放流用
アユ	500	10/8~1/23	500	0.5g	〃
ガザミ	4,100	5/12~6/5	4,995	5(甲幅)	〃
ヨシエビ	4,000	6/25~8/21	5,275	13.8	〃
モクズガニ	100	3/26~4/28	106	3(甲幅)	〃